

若手研究者のための創造的論文特集の発行にあたって



若手研究者のための創造的論文特集編集委員会

委員長 山崎 憲一

残念な報告から始めなければならない。和文論文誌Bの投稿件数についてである。近年では2008年頃をピークに減少を続けてきたものの、下げ止まりの傾向であった。しかし、2015年度は前年度から大きく減少した。論文は技術の資産であり、これが順調に投稿され、採録・発行されることが学会の社会に対する貢献である。2015年度の減少について詳細な分析はまだ行っていないが、複合的な要因があると考えられる。

本特集は、若手研究者のスキルアップを狙ってのものであるが、このような傾向を少しでも立て直すべく、若手研究者を鼓舞する意味あいも込めたものである。本特集をきっかけとして、若手研究者の方々が、今後も自身のため社会のため、創造性の高い研究を行い論文投稿してくれることを期待する。

若手研究者のための特集は、2012年度より和文論文誌編集委員会が企画しており、今年度で5回目となる。今回もこれまで同様、特集テーマとして技術分野を絞ることなく広く通信技術全般を対象とし、筆頭著者がおおむね40歳以下の若手研究者・学生となる論文を募集した。

本特集に投稿された論文数は、論文8編、レター3編であり、厳正なる審査の結果、最終的に論文7編、レター1編を採録とした。やはり例年に比して投稿数は少なかったものの、採録率は比較的高いものとなった。御投稿頂いた著者の方々、論文査読に御協力頂いた査読委員の方々、ならびに事務局の方々に深く感謝する。判定にあたっては、査読結果通知を受け取る経験が少ない若手研究者のために、通知内容が明確となるよう幹事団ですべての文言について精査した。特に編集委員各位には、たとえ不採録の場合であっても若手研究者にとって有益となるような通知文作成に御尽力頂いた。改めて感謝申し上げる次第である。

やまざき けんいち
山崎 憲一（正員：シニア会員） 昭59東北大・工卒。昭61同大大学院修士課程了。同年日本電信電話入社。平12よりNTTドコモ。平22より現職。プログラミング言語、OS、記号処理計算機、形態素解析、ユビキタスコンピューティングの研究に従事。現在、芝浦工業大学デザイン工学部デザイン工学科教授。博士（工学）。平27本会通信ソサイエティ活動功労賞受賞。平27より本会通信ソサイエティ和文論文誌編集委員長。ACM、IEEE、情報処理学会、人工知能学会各会員。

若手研究者のための創造的論文特集編集委員会

委員長	山崎 憲一
副委員長	塩川 茂樹・高橋 徹
委員	有馬 卓司・伊藤 嘉浩・内田 大輔・小川 剛史
	坂井 文泰・笹森 崇行・菅原 真司・末次 正
	平 明徳・富里 繁・豊田 啓孝・中澤 進
	中澤 仁・流田 理一郎・長谷川 洋平・久永 光司
	廣田 悠介・深田 陽一・福田 盛介・不破 泰
	星田 剛司・三上 学・道下 尚文・山田 渉
	山登 庸次